

活 動 名 称 (40 字 以 内)	インド人学生との学生交流およびインド文化体験活動 日本語教育のサポートと企業訪問をととして																
団 体 名 等	工学系研究科 国際工学教育推進機構 国際教育部門 日本語教室																
活 動 区 分	<input type="checkbox"/> ボランティアなどの社会貢献活動	選 考 方 法	<input type="checkbox"/> 先着順														
	<input checked="" type="checkbox"/> 国際交流体験活動		<input checked="" type="checkbox"/> 書類審査														
	<input type="checkbox"/> 就労体験活動	募 集 人 数	<input type="checkbox"/> 面接														
	<input type="checkbox"/> 農林水産業・地域体験活動		8 人														
	<input type="checkbox"/> フィールドワーク体験活動																
<input type="checkbox"/> 研究室体験活動																	
活 動 方 法	<input checked="" type="checkbox"/> オンラインを活用しつつ現地活動を行う <input type="checkbox"/> オンラインのみで活動を行う																
大 学 院 学 生	<input checked="" type="checkbox"/> 含む <input type="checkbox"/> 含まない																
参 加 資 格 等	特になし																
活 動 期 間	2024/2/26(月) ~ 2024/3/5(火) 9日間	主 な 活 動 予 定 場 所	・インド工科大学カンプール校 (IITK) ・パナーラス・ヒンドゥー大学 (BHU)														
目 的	インドで既成概念にとらわれない、チャレンジ精神を養う。インド工科大学やパナーラス・ヒンドゥー大学での授業参加・日本語授業サポートを通じた学生交流により、異文化を理解・尊重するグローバル意識を育てる機会を提供する。さらに、同窓会組織(インド赤門会)のOBOGとの交流および企業訪問を行う。																
具 体 的 な 内 容 (800字程度)	<p>【活動内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・IITで学習している学生の日本語教育サポートを通して、国際協力・国際交流における日本語教育の意義やあり方について考える機会とする。</li> <li>・1月より事前オンライン交流を開始し、互いの文化理解を深める予定である。</li> <li>・IITの学生と共に講義に参加、学内寮に宿泊し、食事などを共にすることによって、留学の意義を考え、自己研鑽の楽しさを体験する。</li> <li>・ガンジス河畔のヒンドゥー教最大の聖地バラナシ、仏陀初転法輪の地サールナートを見学し、生きた宗教の現場に触れて宗教的精神性の原点を体験的に学ぶ</li> <li>・インド事務所および同窓会組織(インド赤門会)のサポートにより、JICAなどの国際機関などを訪問し、国際的な舞台で活躍するOBOGなどからレクチャーを受ける予定である。</li> </ul> <p>【日程】</p> <p>2月26日(月)東京⇒デリー⇒カンプール到着 オリエンテーション、          2月27日(火)学生交流、日本語授業ボランティア          2月28日(水)IIT-Kの授業に参加 日本語授業ボランティア          2月29日(木)IIT-Kの授業に参加 日本語授業ボランティア          3月1日(金)パナーラスへ移動          3月2日(土)BHU 学生交流          3月3日(日)デリーへ移動、デリー市内見学、          3月4日(月)日系企業(JICA)見学、赤門会との交流会 デリー発→東京着 * 3月5日(火)</p>																
備 考	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本企画は東大インド事務所・インド赤門会と工学系研究科日本語教育部門の協同開催である。</li> <li>・事前オリエンテーション参加必須。6月(オンライン)・12月上旬を予定(場所は後日連絡)。</li> <li>・インド工科大学(Indian Institutes of Technology)は、工学と科学技術を専門とする、インドの16の国立大学の総体で、高い研究・教育水準で国際的にも認められている。IITは工科大学ではあるが、人文社会系の専攻も備えており、文系も受け入れることができる(WEB参照)。</li> <li>・インド往復の飛行機は推奨便を紹介する。</li> <li>・宿舎、車はプログラム企画団体の指定とする。</li> <li>・滞在期間中の参加者各自の安全管理と健康管理にはプログラム企画団体ガイドのアドバイスに従い、十分気を付けること。</li> <li>・A型肝炎の予防接種を推奨。</li> <li>・日程はインド大学の都合などにより、変更の可能性有り</li> </ul>																
参 加 す る た め の 費 用 <sup>※</sup>	内 訳(1名当たり)	その他 <sup>※</sup> 特記事項は以下に記載															
	<table border="1"> <tr> <td>交通費</td> <td>実費</td> <td>円</td> </tr> <tr> <td>宿泊費</td> <td>30,000</td> <td>円</td> </tr> <tr> <td>インド国内交通費</td> <td>15,000</td> <td>円</td> </tr> <tr> <td>食費</td> <td>10,000</td> <td>円</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td>円</td> </tr> </table>	交通費	実費	円	宿泊費	30,000	円	インド国内交通費	15,000	円	食費	10,000	円	計		円	奨励金額
交通費	実費	円															
宿泊費	30,000	円															
インド国内交通費	15,000	円															
食費	10,000	円															
計		円															
ウ ェ ブ サ イ ト 等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・工学系研究科日本語教育部門: <a href="http://www.jlcse.t.u-tokyo.ac.jp/">http://www.jlcse.t.u-tokyo.ac.jp/</a></li> <li>・東大インド事務所: <a href="http://www.indiaoffice.dir.u-tokyo.ac.jp/jp/about/index.html">http://www.indiaoffice.dir.u-tokyo.ac.jp/jp/about/index.html</a></li> <li>・インド赤門会: <a href="http://www.indiaoffice.dir.u-tokyo.ac.jp/akamonkai/index.html">http://www.indiaoffice.dir.u-tokyo.ac.jp/akamonkai/index.html</a></li> <li>・インド工科大学カンプール校: <a href="https://www.iitk.ac.in/">https://www.iitk.ac.in/</a></li> </ul>																